



コスモス



【知】 進んで学びよく考える子 【徳】 明るく思いやりのある子 【体】 たくましくねばり強い子

18歳の若者たちの意識調査より

校長 清水 励

築山のニセアカシヤの葉も濃さを増し、新緑が目には鮮やかな季節となつてまいりました。今年度が始まり、約1か月が経とうとしています。1年生たちも含めた子供たちは、新しい教室での生活にも慣れ、先生やお友達と日々の学習に一生懸命に取り組んでおり、教室は明るい笑顔があふれています。保護者の皆様には、先日の授業参観・学級懇談会に多数御参加をいただき、誠にありがとうございました。

さて、日本財団「18歳意識調査」というものを御存じでしょうか？

今回の調査は、「国や社会に対する意識(6か国調査)」というテーマで、「日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インド」の若者を対象に実施されました。

※調査結果はこちらへ⇒



今回の調査結果からも「日本の若者の現状」に驚くとともに、「学校教育の在り方を、根本から見直す必要がある…」と改めて感じております。下記に、いくつかの調査結果を抜粋します。

※斜体数字は日本の共感率

◆「自分自身について」

- ・自分のしていることには、目的や意味がある… **62.8%** (他国 72.9~90.2%)
- ・将来の夢をもっている…………… **60.1%** (他国 73.5~88.2%)
- ・自分は他人から必要とされている…………… **56.8%** (他国 70.1~85.5%)
- ・自分には人に誇れる個性がある…………… **53.5%** (他国 65.6~83.9%)

◆「自分自身と社会の関わりについて」

- ・自分は大人だと思う…………… **49.6%** (他国 54.8~90.0%)
- ・自分の行動で、国や社会を変えられると思う… **45.8%** (他国 56.1~83.7%)

◆「なりたい職業について」

- ・なりたい職業は「特に無い」…………… **20.3%** (他国 0.5~3.2%)

◆「人生において大切にしたいと思っていることについて」

- ・最多回答「自分の好きなことややりたいこと・趣味」… **52.5%**
(他国全ての最多回答は「家族」50.9~62.5%)

諸外国とは、文化的背景や価値観等が異なるので一概に比較はできないと思いますが、皆さんは、この「日本の若者の調査結果」をどのように受け止めますでしょうか。

これまでの日本の学校教育は、一度に大勢の子供たちに、ある程度の知識技能等を効率よく身に付けさせるという点では大きな成果がありました。しかし、世界の産業構造も大きく変わり、日本特有の学歴偏重、終身雇用・年功序列の雇用形態も変化し、これまでの「学校のテストである程度いい点をとってれば、それなりの人生につながった」という仕組みも、過去のことになりつつあります。

やや話が大きくなってしまいましたが、今、小学校では子供たちにどのような力を付けるべきなのか…。そのためには、どのような学びを進めていくべきなのか…。国や県から様々な方針等が示されていますが、最も肝心なこと、それは『日々の授業の中でいかに実践していくか』です。本校は、昨年度より委嘱研究として、これらの課題に取り組むテーマを設定して研究を進めております。子供たちが成人した時に、他者と協働しながら、様々な課題に対して、強くしなやかな心で取り組むことができる資質・能力を身に付けられるよう、その「素地づくり」に取り組んでまいりたいと考えております。今のキラキラした瞳を、大人になってもキラキラと輝かせられるように。